

行政運営の基本理念・原則となる条例(仮称) 検討報告書(中間報告案)の概要

[基本条例の意義・効果]

- ① 行政運営の基本的な方向性が明確化される
- ② 府の役割や責務、市町村や民間団体等との関係の基本が明確化される
- ③ 行政運営・自治に対する意識向上、改革・改善等のプロセスが生まれる

[基本条例の方向性の検討]

○ 基本条例のコンセプト

基本条例は、府民とともに目指す社会の姿を描き、それに向かってあるべき行政の理念を中心に掲げ、それを実行するための行政運営の基本的な方向性の大枠(羅針盤)を示すものであること

…「行政基本条例」、「住民自治型自治基本条例」等既存条例の形式を意識せず、府民と合意できる事項を条例化するものであること

(独自の特徴)

- ▶ ユニバーサルな視点、京都の「和」、共生の視点
- ▶ 参画・協働による新しい自治のあり方(新しい公共)
- ▶ 京都らしいやわらかなイメージや表現 等

○ 3つの基本理念

- ① ユニバーサルと共生の視点に立つ府政
 - ▶ 府民一人ひとりが尊重され、誰もがその意思に基づいて参画でき、個性や能力が生かされるとともに、多様な価値観のもとで府民同士がつながり、支え合う社会の実現を全ての行政運営の基本に置く府政
- ② 住民自治を尊重する府政
 - ▶ 現地・現場において、府民や地域の活動を尊重し、支え、広げることにより、主体的で自立した府域を実現する府政
- ③ 多様な主体の連携・協働による府政
 - ▶ 市町村や地域づくりに参画する府民、民間の団体等、公共の役割を担う多様な主体との連携・協働によって、地域課題に的確に対応した公共活動を構築し、府民福祉の向上を図る府政

○ 府(政)が果たすべき役割の基本

- ▶ 地域の特性や状況に配慮した地域行政
- ▶ 地域づくりに参画する府民や地域活動団体、民間活動団体との協働の推進
- ▶ 市町村と適切に役割を分担(近接性・補完性、対等な立場での連携・協力)
- ▶ 高度先進医療、試験研究など高度な専門的分野や、災害対応、危機管理など市町村の区域を越える行政サービスの提供
- ▶ 地域格差の是正や市町村間の調整など広域的な総合調整機能

○ 5つの基本原則

- ① 府民に明確な将来ビジョンを示し、府民の安心と活力の向上を支える府政
 - ▶ 安定的で持続可能な、自立した行政運営の確立
 - ▶ 府民や地域の意欲や力を高め、安心感と希望や活力のある府域を実現する力強い行政運営
- ② 府民の参画と協働を尊重し、支える府政
 - ▶ 府民一人ひとりを尊重し、その思いを受け止める府政
 - ▶ 置かれた環境や立場に応じて府民の意思で誰もが参画・協働でき、その個性や能力が生かされる行政や地域づくりの確立
 - ▶ 政策形成や意思決定のプロセス等への参画の促進
- ③ 府民によく見える、信頼される府政
 - ▶ 行政情報を積極的に提供し府民との共有を図り、府民への説明責任を果たすことによる透明性の確保
 - ▶ コンプライアンス、個人情報保護など適正な執行による公平・公正な行政
- ④ 府民、地域それぞれが生かされる府政
 - ▶ 府民や地域の自主・自立的な地域づくりを優先するとともに、その活動を尊重し、支え、その活動を府内に拡げていく行政
 - ▶ 現地、現場の視点で、府民の声を聴くことによって共に考えていく行政
 - ▶ 社会的に弱い立場の府民や条件の不利な地域等をしっかり支える行政
- ⑤ 市町村等との連携・協力による府政
 - ▶ 二重行政の排除、ワンストップ・サービス等効率的で利便性の高い行政サービスの実現
 - ▶ 広域的な調整機能の発揮
 - ▶ 対等な立場を基本とした国や他の自治体との連携・協力

○ その他論点となる主な項目

- 府民、知事（、議会）等の責務（権利）
 - 府政に関わる主体（府民、知事、職員等）の責務（や権利）を規定
- 二元代表制の下での議会との関係の基本
 - 相互の役割を踏まえた適正な牽制と尊重の関係の基本を規定
 - ※ 議会に関わる規定については、議会側の議論や意見を踏まえて調整が必要
- 公共の領域を共に担う民間活動との関係
 - 府民の主体的、自立的な民間公共活動を生かしていくための行政の役割を規定
 - 民間の公共的な活動の担い手を幅広く捉えていくこと
 - 民間の公共的な活動との関係のあり方を示すこと
- 基本理念、原則を生かす制度・手続
 - 基本条例に実効性を持たせる制度や手続などの基本的な考え方（原則等）を規定
- 行政主体相互の関係
 - 府内市町村との関係のあり方を規定
 - ▶ 対等・協力の関係である市町村の個々の活動を尊重
 - ▶ 近接性・補完性と連携・協力
 - ▶ 市町村に替わって府が直接実施する施策の選択
 - ※ 政令市である京都市との関係をどのように取り扱うか検討が必要